

## 第6学年 社会科学習指導案



**<目標10>不平等をなくし、公平な社会の仕組みについて考えようとする**



**<目標14>海の環境を考え、資源を守ろうとする態度を育む**

- 1 単元名 世界の中の日本
- 2 単元目標・評価規準

○単元目標

日本と経済や文化、資源などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子を日本の国際協力や国際交流の様子、国際連合の働きなどを調べたりすることを通して、世界の人々とともに生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることや、世界平和を目指す上で日本が重要な役割を果たしていることを考えられるようにする。

○評価規準

		社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
ESDの視点	単元の評価規準 (◎はESDの視点で記述)	○日本と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子や日本の国際協力や国際交流の様子、国際連合の働きなどに関心を持ち、意欲的に調べている。 ○世界平和の大切さと我が国が世界の平和や発展のために重要な役割を果たすことの大切さを考えようとしている。 ○外国の生活や文化に関心を持ち、世界の人々とともに生きていくためには異なる文化や習慣を尊重することの大切さを考えようとしている。	○文化や習慣を比較したり、国際交流や国際協力の様子、国際連合の働きと平和や発展への人々の願いとを関連付けたりして、異なる文化や習慣を理解し合うことや世界平和の大切さ、日本が世界において重要な役割を果たしていることについて考え、適切に表現している。 ◎日本と経済や文化、資源などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子や日本の国際協力や国際交流の様子、国際連合の働きなどについて、学習問題や予想、学習計画、問題解決の方法を考え、適切に表現している。	○地図や地球儀、各種の基礎的資料を活用したり、聞き取り調査をしたりして、我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子や我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きについての情報を集めて読み取っている。 ○調べたことから必要な情報を選び、白地図や作品などにまとめている。	○衣服や料理、食事の習慣、住居などの衣食住の特色や、国民に親しまれている行事、学校生活や子ども遊び、あいさつの仕方やマナー等の習慣などを基にして、外国の人々の生活には異なる文化や習慣があることが分かっている。 ○我が国は、世界の人々と互いに親善や理解を深めていることが分かっている。 ○我が国は、世界の平和や発展のための貢献をしていること、国際連合が平和な国際社会の実現に努力していることが分かっている。
	構成概念		<b>Ⅲ 有限性</b>		
ESDの視点	能力・態度	<b>② 未来</b> 未来像を予測して計画を立てる力	<b>⑥ 関連</b> つながりを尊重する態度		

3 ESDの内容

国際理解 ①国際理解

私たちの生活は、私たちが知らないところで、私たちが知らないような国々の支えや協力の上に成り立っているということに気づき、日本だけではなく、世界の人々とともに支え合い、協力しながら生きていくためには、互いの異なる文化や習慣を理解し、尊重しなければならないという意識を高めていきたい。

#### 4 ESDの視点

##### 【構成概念 Ⅲ有限性】

我が国を含め、様々な国々のもつ資源は有限なものである。たとえ、今現在は数多く存在するものであっても、無計画に使い続けられれば、やがては枯渇してしまう。また、ある国の資源が無くなったなら、別の国の資源を頼るといった一時的なことでは、根本的な解決とならないことをモーリタニアのタコ漁やサウジアラビアの石油などといった学習を中心として気づかせたい。

しかし、未来の資源の問題に関して、悲観的に捉えるのではなく、どのようにしたらこれらの問題を解決できるのか、明るい未来を迎えることができるのかというプラスの方向に考える学習としていきたい。

##### 【能力・態度 ⑥つながりを尊重する態度】

私たちの生活は、多くの国々の協力をなくして送ることはできない。例えば、その代表例が石油である。日本では、ほとんど産出されることはないが、石油なくして現在の生活は考えられない。また、石油が有限な資源であって、年々その埋蔵量が減ってきていることは周知の通りである。石油だけでなく、資源の乏しい日本において、海外の国々とのつながりは必要不可欠なものと言っている。

さらには、かつては日本でも数多く存在した資源が、乱獲により減少してしまった例もある。そのような事例も取り上げ、海外の国々とのつながりに加え、貴重な資源と私たちとのつながりについても考えていけるような学習としていきたい。

#### 5 指導計画（16時間扱い）

時	学習計画	指導上の留意点(☆) 評価(○、ESD◎)
1 5 4	<b>1 世界と結びつく日本 [6時間]</b> ○日本とつながりの強い国について調べよう。 ◇私たちの暮らす日本とかかわりのある国について調べ、特につながりの深い国々の中から1国を選び、その国について調べたことをまとめる。 ●歴史的なつながりの深い中華人民共和国 ・中華街との関係(歴史的なつながり) ・中国の産業や発展の様子 ●貿易でつながりの深いアメリカ ・アメリカの産業や都市の様子 ●サッカーのさかんなブラジル連邦共和国 ・日本人の移住が多かったこと(歴史的なつながり) ・産業の発展と急成長の様子 ・日本で働く人々など	☆外国とつながりのある児童や家庭があることにも配慮し、外国を批判するような表現を用いた資料は予め除いておく。 ☆調べ学習が網羅的にならないように、産業や交通、衣食住、学校生活などポイントを定めて調べるようにする。 ○日本と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子に関心をもち、意欲的に調べている。<関・意・態> ○我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活には、異なる文化や習慣があることが分かっている。 <知・理>
5	○いろいろな国を調べて、分かったことや感想をまとめ、調べた内容について報告し合う。	☆世界地図や地球儀を用意して、全体で日本との位置関係を確認できるようにする。 ○異なる文化や習慣を理解し合うことや、世界平和の大切さについて考えようとしている。<関・意・態>
6	○地球儀や世界地図の見方を確認し、選んだ国の場所や日本からの距離を地図に書き表す。 ・日本の暮らしや文化との比較 ・世界の国々がかかえる問題点	☆日本との位置関係や地図から海や砂漠などの特徴に目を向けるよう声かけを行う。 ○地図や地球儀、各種の基礎的資料を活用し、調べたことを白地図や作品などにまとめている。<技>
7 (本時)	<b>2 世界の平和と日本の役割 [6時間]</b> ○私たちの生活とモーリタニアのタコ漁とのかかわりについて考えよう。 ・モーリタニアと日本のタコ漁を通じた関係 ・タコの獲りすぎによる問題 ・問題と向き合っていく必要性	◎自分たちの生活と海外の国々との資源を通じたつながりがあることに気づき、そのような国々との関わり合い方や資源の有効な活用の仕方について、自分の考えとしてまとめ、表現している。 <思・判・表> <b>【⑥関連】</b>

8 5 9	<p>○世界ではどんな問題が起きているのだろうか。 ◇世界がかかえる様々な問題をもとに、それらを解決するために、どのような取り組みが行われているかを調べ話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サウジアラビアと日本との関係</li> <li>・宗教や文化、民族の違いから生じている対立や戦争が起こっていること</li> <li>・地球温暖化をはじめとした環境問題</li> <li>・格差社会（子どもたちの生活水準の格差）</li> </ul>	<p>☆石油を用いてできているものを例示し、石油の必要性を実感させる。 ☆経典のコーランが憲法の役目を果たしていることを伝える。 ◎外国の人々の文化と日本の文化の共通点や異なる点、異なる文化や習慣を理解し合うことの大切さについて考え、適切に表現したりしている。〈思・判・表〉</p> <p><b>【Ⅲ有限性】</b></p>
10 5 11	<p>○子どもたちを救うために、世界はどんな行動をしているのか。 ◇ユニセフの仕組みや活動の様子を調べ、子どもたちを守るための国際的な活動についてまとめる。また、ユニセフやユネスコの活動を調べることを通して、国際連合の果たす役割について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの権利条約」とユニセフの働き</li> <li>・私たちの募金の流れ</li> <li>・ユネスコの識字運動や世界遺産の保護</li> </ul>	<p>☆自分たちの生活と比較しながら、世界の子どもたちの状況をとらえさせる。 ○平和な国際社会の実現に努力しているユニセフやユネスコなどの活動を通して国際連合の働きが分かっている。〈知・理〉 ○国際連合の働きと世界の平和や発展への人々の願いとを関連付け、異なる文化や習慣を理解し合うことや世界平和の大切さを考え、適切に表現している。 〈思・判・表〉</p>
12 5 13	<p>○日本は世界でどんな役割を果たしているのだろうか。 ◇JICAの青年海外協力隊やNGOで活動する人たちの努力や思いについて調べまとめる。また、日本の果たす役割や援助のあり方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年海外協力隊の派遣国と実際の役割</li> <li>・日本政府の開発援助（ODAによる資金援助）</li> <li>・NGOによる活動</li> <li>・WFP</li> <li>・国境なき医師団</li> </ul>	<p>☆最近起きた世界的な問題をいくつか具体的にあげて説明することで、調べる意欲を高める。 ○日本の国際交流や国際協力の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え、ノートやワークシート等に適切に表現している。〈思・判・表〉 ○日本の国際交流や国際協力の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 〈関・意・態〉 ○日本が世界の平和や発展のための貢献をしていることが分かっている。〈知・理〉</p>
14 5 15	<p><b>3</b> ともに生きる世界をめざして [4時間]</p> <p>○スポーツの国際大会では、どんな交流が行われているのだろうか。 ◇オリンピックなどのスポーツの国際大会の様子について調べ、国と国の枠を超えて集まり、競技を行うことの意味について話し合う。また、国旗や国歌のもつ意味について調べまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国とのスポーツを通じた交流</li> <li>・各国の文化について知ること</li> <li>・各国の国旗と国歌</li> <li>・平和な世の中の創造</li> </ul>	<p>☆オリンピックの起源を説明したり、開会式の映像などを見せたりすることで、具体的なイメージをもたせるとともに、学習意欲の向上へとつなげる。 ○世界の国々が平和で発展して行くためには、互いの文化や生活習慣を尊重し、理解し合うことが大切であることを考えようとしている。〈関・意・態〉 ○我が国の取組と世界の平和や発展とを関連付けて、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考え、適切に表現している。 〈思・判・表〉 ○国旗、国家の意味について、必要な情報を選び、ノートや作品にまとめている。 〈技〉</p>
16	<p>○「ともに生きる世界」を目指して、もっと世界ができることはないだろうか。 ◇外国の人々との様々な交流について話し合ったり、自分自身の経験を話し合ったりする中で、共通点や違いを見い出しまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外における日本の文化の認知度</li> <li>・日本に住む外国人の数 ・海外に住む日本人の数</li> </ul>	<p>☆世界の国々の協力で成り立っている活動の事例を紹介し、活動の意味や役割について考えさせる。 ○我が国は、世界の人々と互いに親善や理解を深めていることが分かっている。 〈知・理〉</p>

6 本時（7 / 16）

○本時目標

自分たちの生活と海外の国々との資源を通じたつながりがあることに気づき、そのような国々との関わり合い方や資源の有効な活用の仕方について、自分の考えをまとめ、表現することができるようにする。

○展開

学習活動	指導上の留意点（☆） 評価規準（○、ESD◎）
<p>1 地図と国旗からモーリタニアという国があるということを確認する。</p> <p>2 本時の学習問題の確認</p>	<p>☆より具体的にモーリタニアの情報を読み取れるようにし、学習への意欲を高めるために、パワーポイントを作成し、国内の様子や日本との位置関係など、より具体的にモーリタニアの情報を読み取れるようにする。</p>
<p>私たちの生活とモーリタニアのタコ漁とのかかわりについて考えよう。</p>	
<p>3 資料からモーリタニアと日本との関係を読み取り、その関係性について、感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モーリタニアなんて国は知らなかったけど、日本とのつながりがあったんだね。</li> <li>・スーパーでモーリタニア産って書いたタコが売られているのを見たことあるよ。</li> <li>・日本人もタコが手に入るし、モーリタニアの人もお金が儲かるし、いいことばかりだね。</li> <li>・でも、日本のタコは減ったままでいいの？</li> </ul>	<p>☆モーリタニアはタコを食べる習慣がないこと、またモーリタニアの人々は日本がタコを輸入してくれることで、生活が向上し、双方にとって利益があったことを確認する。</p> <p>☆必要に応じて、モーリタニア産のタコの味についての感想をまとめた映像を見せ、日本のタコと遜色ないことを実感させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>キーワード①</b> 「果たしてこれでいいの？」</p> </div>
<p>4 日本への輸出が増えるとともに、モーリタニアのタコの漁獲高が減った事実から、感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本がたくさん輸入したせいで、モーリタニアのタコが減っちゃったなんて、日本人ひどいよ。</li> <li>・計画性もなくタコを獲ってしまったせいだね。</li> <li>・自分の国だけじゃなくて、他の国にも迷惑をかけてしまっているね。</li> <li>・モーリタニアのタコが減ったら、今度はモロッコのタコを買うとか、自分勝手な感じがする。</li> <li>・モーリタニアの人がまた貧しくなっちゃう。</li> <li>・こんなことしたら、モロッコのタコも減ってきちゃうよ。</li> </ul>	<p>☆日本への輸出が増えるとともに、モーリタニアのタコの漁獲高が減ったことを確認する。</p> <p>☆モーリタニアのタコの漁獲高が減ってきた後、タコの輸入先をモロッコへと求めた事実を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>キーワード②</b> 「何がいけないの？」</p> </div>
<p>5 これまでの話し合いの内容をもとに、私たちはこれからどのようにこれらの問題と向き合っていけばいいのか、グループで話し合い、まとめたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりと計画を立てて獲らないといけないと思う。</li> <li>・獲ることだけじゃなくて、育てることも教ええないといけないよね。</li> <li>・もっと相手の国のことも真剣に考えないといけないよね。</li> <li>・タコだけじゃなくて、他の魚にも同じ問題があるといえるよね。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>キーワード③</b> 「どうしたらいいの？」</p> </div> <p>☆切実感をもって問題に向かえるようにするために、タコ以外の生き物にも同じ問題が考えられることを提示する。</p> <p>☆悲観的に捉えるのではなく、どのようにしたら明るい未来を迎えることができるのかというプラスの方向に考えるよう声かけを行う。</p> <p>◎自分たちの生活と海外の国々との資源を通じたつながりがあることに気づき、そのような国々との関わり合い方や資源の有効な活用の仕方について、自分の考えをまとめ、表現している。 &lt;思・判・表&gt; <b>【⑥関連】</b></p>